



工事中の環境保全対策

安全対策

- 工事車両出入口には交通整理員を適切に配置し、通行者の安全を確保します。
- 工事車両の運行については、交通法令を遵守し、交通安全に努めます。
- 敷地周辺には仮囲いを設け警備員を配置し、工事の安全確保に努めます。

騒音・振動対策

- 解体工事期間中は、仮設テントを設置し、騒音の発生抑制に努めます。
- 電動式タワークレーンを使用することにより、騒音・振動を低減します。
- 可能な限り低騒音・低振動型の建設機械を採用し、騒音・振動の発生抑制に努めます。
- 騒音計、振動計を設置し、測定値をリアルタイムで監視します。

粉じん対策

- 粉じんが発生する作業は、適時散水など必要な措置を行い、粉じんの飛散防止に努めます。
- 解体工事期間中は、仮設テントを設置し、粉じんの飛散防止に努めます。
- 粉じん計を設置し、測定値をリアルタイムで監視します。

電波障害対策

- 建設機械などによるテレビの受信障害が万一発生した場合は、速やかに対策を行います。

排出ガス対策

- 最新の排出ガス対策型建設機械をできるだけ採用します。
- 工事に使用するディーゼル自動車は、粒子状物質規制に対応した車両を使用します。
- 場内待機中の建設機械や工事車両は、アイドリングストップを徹底します。
- 電動式タワークレーンを使用することにより、排出ガスを低減します。

排水対策

- 工事中の排水は、仮設処理設備を設置し、適切に処理します。

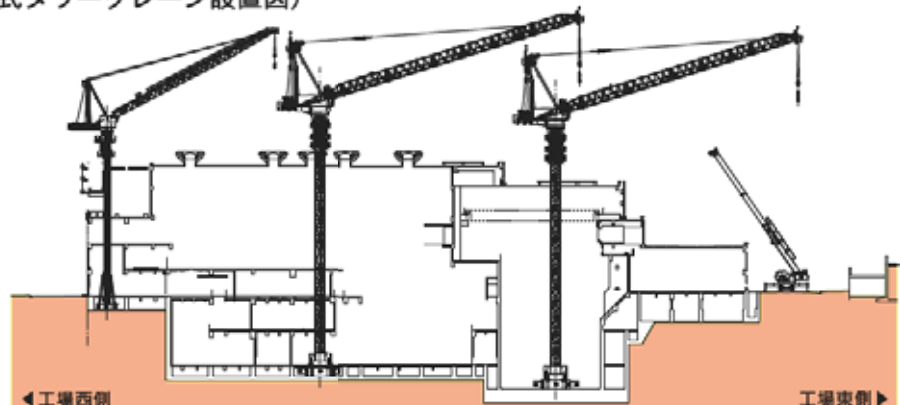
地盤対策

- 掘削区域の周囲に山留め壁を構築し、周辺環境への影響を防止します。
- 定期的に敷地周辺の地盤レベル調査などを行います。

建設廃棄物の発生抑制

- 資材搬入の際には、簡易梱包などにより、養生材の廃棄物の発生抑制に努めます。
- 工事中は、3R（リデュース、リユース、リサイクル）に積極的に取り組みます。

(電動式タワークレーン設置図)



イメージ図